

科目名	情報リテラシー実践ⅠA(再) 82<2021年度以前入学者対象>		基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
担当教員		前期	金曜日		2限	
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-102-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	基本的な情報の活用に加えて、表計算ソフトを利用した基礎的な統計分析に取り組む。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の使い方を理解し、具体的な課題解決の場面において、情報を収集、分析、判断、編集、発信、共有することができる（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力） ・統計学の基礎を理解し、表計算ソフトによるデータ分析に取り組むことができる（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力） ・情報化社会の特徴を理解し、情報セキュリティ、情報モラル・ルールとマナー、ソーシャルメディア、著作権・肖像権侵害、ネット犯罪の観点からインターネット上での問題に対処する方法を考えることができる（倫理観、社会的責任の自覚） 					
授業計画・内容 授業方法	<p>【基本】4回程度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報倫理講習、授業ガイダンス（情報処理教室の使い方、教育システムの紹介）、レディネス調査 2. コンピュータの基本操作と構造（ファイル・フォルダの管理、電子メールの送受信） 3. ネットワークの仕組み、情報検索（WWWでの情報検索、学術情報の情報） 4. 情報の活用と情報倫理、情リテ情報倫理テスト <p>【標準】4回～6回程度</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 表計算ソフトによるデータ処理(1)（表の行と列、データの入力、セルの調整、数式処理、オートフィルなど） 6. 表計算ソフトによるデータ処理(2)（関数、絶対参照と相対参照、グラフの作成など） 7. 表計算ソフトによるデータ処理(3)（ソート、フィルタ、データの集計など） 8. 課題提出のための実習（文書作成ソフトと表計算ソフトを用いたレポート作成など） 9. 統計学についての基礎知識（データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど） 10. 母集団と標本（平均・分散の推定、正規分布など） <p>【発展】4回～5回程度</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. 平均値の差の検定(1)（対応のあるデータ） 12. 平均値の差の検定(2)（対応のないデータ） 13. 相関分析 14. 単回帰分析 15. まとめ 					
授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。 ・メッセージや掲示板等を活用する場合もあるため、以下のウェブサイトより「kibaco 利用ガイド」を確認すること。 <p><https://www.comp.tmu.ac.jp/e-learning/kibaco_guide.html></p>					
テキスト・参考書等	eラーニングシステム「kibaco」上に、コースウェアおよび各種動画コンテンツを設置する。クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加、【基本】【標準】【発展】で提示される課題や発表、情リテ情報倫理テストなどの観点に基づき、総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある） ・課題や発表については、ICTを活用した課題解決や表計算ソフトによるデータ分析に主体的に取り組んでいるかどうかを評価する（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力、専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力） ・情リテ情報倫理テストでは、一般的な情報倫理に加えて、本学の情報環境に関する利用方法を理解できているかを確認する（倫理観、社会的責任の自覚） <p>なお、正当な理由なく4回以上欠席した場合は、原則として不合格とする。</p>					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報倫理講習」を受講しない場合、原則として授業に参加できなくなるため注意すること。 ・関連する授業科目として、後期に「情報リテラシー実践 A（統計学の基礎とデータ分析）」、「情報リテラシー実践 B（プログラミング）」、「情報リテラシー実践 C（画像・音・映像等の処理）」を提供している。 					